

# 石巻圏域定住自立圏の形成に向けた取組みについて

## 1 石巻圏域の概要

石巻広域圏は宮城県の北東部に位置し、石巻市、東松島市及び女川町の2市1町で構成されており、面積が約723平方km、人口が約22万人とそれぞれ県全体の1割を占め、仙台市から中心都市石巻市まで、約50kmの位置にある。

圏域の中央には一級河川「北上川」が貫流し、東部一帯はリアス式海岸の南三陸金華山国定公園の区域、北部と西部は仙台平野に連なる広大な耕地、南西部は日本三景の一つである「松島」に接している。

気候は、東北地方の中部太平洋側に位置するため、内陸地方に比較して、寒暖の差は少なく、季節風の影響を受け、夏型と冬型に区別される。

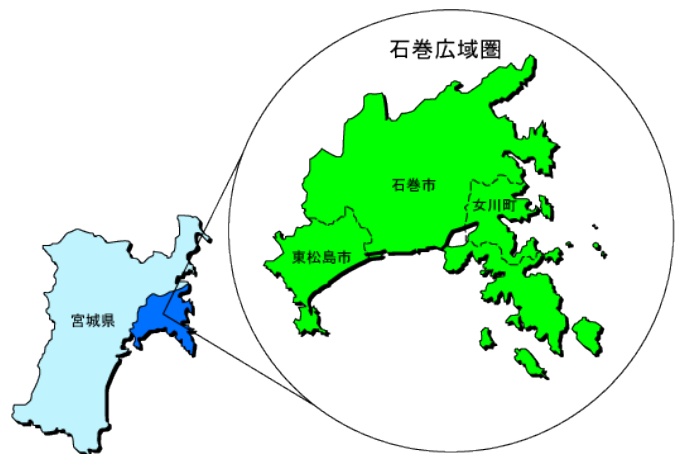
一年を通して降雨量が少なく、自然災害の少ない地域となっている。

石巻圏域の人口は、219,016人(平成21年3月31日現在)で、県総人口の約9.4%を占めており、昭和60年をピークに減少が続いている。

一方、圏域の世帯数は、79,231世帯で、昭和30年代以降増加しており、1世帯当たりの人員は約2.8人で、県平均の2.6人を上回っている。

また、65歳以上の圏域の高齢化率は25.8%(56,520人)で、県平均値の21.8%(508,136人)を大きく上回っており、高齢化が進んでいる。

なお、石巻市から仙台市への就業者・通学者については、平成12年に3,377人だったのが、平成17年には3,658人と増加している。



(平成21年3月31日現在)

区分	人 口				世帯数	面 積		人口密度 (人) (1k㎡当り)
	H17国調	H12国調	増 減	H21.3月 末現在		総面積 (k㎡)	比率(%)	
石巻市	167,324	174,778	△7,454	165,099	60,349	555.78	76.8	297.1
東松島市	43,235	43,180	55	43,506	14,985	101.86	14.1	427.1
女川町	10,723	11,814	△1,091	10,411	3,897	65.79	9.1	158.2
圏域合計	221,282	229,772	△8,490	219,016	79,231	723.43	100.0	302.7

## 2 石巻圏域定住自立圏構想の取組み経緯

---

平成 21 年

- 6 月 25 日 定住自立圏構想に関する勉強会（総務省） 2 市 1 町の職員等
- 7 月 29 日 石巻圏域定住自立圏構想研究会運営要綱の制定
- 8 月 5 日～  
27 日 第 1 回石巻圏域定住自立圏構想研究会（概要、先進地事例研究）  
第 2 回石巻圏域定住自立圏構想研究会（現状分析、課題認識、項目洗出し）
- 11 月 12 日 第 3 回石巻圏域定住自立圏構想研究会（現状分析、課題認識、項目洗出し）

平成 22 年

- 1 月初旬 ワーキング会議（産業部門）の開催（今後随時開催）
- 2 月初旬 第 4 回以降石巻圏域定住自立圏構想研究会を数回開催
- 下旬 各市町長会議（中心市宣言（案）の検証）
- 3 月下旬（予定）中心市宣言（石巻市）

## 3 石巻圏域の活性化に向けての課題

---

- (1) 仙台圏（高次都市機能）との連携強化
  - ・仙石線のスピード化、三陸自動車道の 4 車線化の推進など
- (2) 他圏域との連携強化
  - ・石巻・新庄道路の早期実現、三陸自動車道の延伸、石巻港の整備促進など
- (3) 圏域内の活性化
  - ① 雇用の確保
    - ・産業振興、観光振興、企業誘致、UJIターン施策
  - ② 都市機能の向上
    - ・地域医療の充実、福祉サービスの拡充、教育・文化の充実、公共交通の充実

## 4 周辺市町との連携を想定する取組（検討中）

---

- (1) 地域医療体制の整備
- (2) 石巻専修大学を活用した地域活性化策
- (3) 文化・スポーツ施設の使用料の統一化
- (4) 観光素材の開発と情報発信
- (5) 企業誘致活動の連携
- (6) U・J・Iターン事業の推進
- (7) 体験型観光の商品化
- (8) 地域公共交通の維持・確保 など